



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第4回例会(7月26日)
平成24年8月3日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例会場 同上 TEL(651)1111(代)
FAX(653)5622
例会日 毎週金曜日12時30分～

会長 藤村 文昭
幹事 佐藤 重昭
会報 福田 荘介
クラブ直通電話 TEL(653)5682

奉仕を通じて平和を Peace Through Service..... RI会長 田中作次



ゲスト卓話

「ガバナー公式訪問」

RI2520 地区 2012-2013 年度ガバナー
小野寺 則雄 様

ロータリー歴は 30 年を超えて長いのですが、
よもやガバナー職に就くとは思いませんでした。
至らぬガバナーではありますがこの一年、
皆様にお支えいただきたいと思っております。

**30 年ぶりに誕生した日本人 RI 会長
世界3都市で平和フォーラムを開催**

RI 会長に 30 年ぶりで国際ロータリー会長として、
日本人である田中作次さんが誕生しました。そういうとき、
私もこの地区からガバナーに選出されたのは、
非常に因縁があると思っています。田中 RI 会長から、
皆様に RI の計画などの話をしておくように伝えられております。
それは先ほど藤村会長もお話したように、田中会長は
今年度のテーマは「奉仕を通じて平和を (Peace through service)」
と世界に発信しています。このテーマをもって「戦後の経済
を通じて発展した日本から、平和を世界に広めていきたい」と
いうのが「何よりの目的」とおっしゃっています。田中 RI 会長は、
私よりも年代がちょっと上ですけれども、戦前・戦後を通じて
平和というものがいかに尊いものか、世界に知らせたいとお
っしゃっています。皆様もご存知のように、世界のどこかで紛争・
戦争が行われていて「嘆かわしいことだ」とのことでした。
奉仕を通じて平和を実践する中で、ご自身は「世界 3 つの都市
で世界平和フォーラムを開催したい」と計画を立てています。当然、
日本を含みますが、最初にドイツのベルリンで 11 月に行われる
予定です。年明け 1 月後半

には、アメリカのハワイ・ホノルルで行われます。年度が替わる直前の
5 月 17 日と 18 日、日本の広島市で世界平和フォーラムを行う
ということです。「RI 会長が出ている日本では、この広島大会を
盛り上げていただきたいし、参加もしていただきたい」とおっ
しゃっています。田中会長は「ロータリアンはもとより、若い世代
の方々を広島に派遣していただきたい」とおっしゃっています。こ
れは「インターアクト、あるいはライラ関係の方々、これからロー
タリーを背負って立つような方々を広島に派遣してほしい」とお
っしゃっていて、皆様方には大変なご負担をおかけするとい
うことで「広島大会を開くためには、日本の 34 地区の全ロー
タリアンから 300 円ずつの負担金をいただきたい」ということ
で、当地区は 2,200 名の会員がいらっしやいますから、66 万
円の負担金を出さなくてはなりません。さらには来年 5 月 17 日
に、若い方々を中心にロータリアンに出席してもらうとな
ると、登録料や交通費も掛かります。若い方々からは登録料を
いただかないことにしています。登録料をいただくのはロー
タリアンのみ。交通費もできるだけ地区の負担にしていかな
ければならないと思います。特別会費として 1 人 1,000 円
いただいていますけれども、66 万円は負担金で飛んでしま
いますから、いくらも派遣費用が残らないのが実情です。し
かしながら、日本から RI 会長が出た年ですから、我々 34
全地区の会員が盛り上げていこうということでは一致した
ところです。

それから、この地区も同じですが、国際ロー

タリー自体の会員数が非常に減少しています。今、RI 全体では 120 万人が在籍していますが、「3 年間で 10 万人増やしていきたい」と RI が言っています。我々も今の 2,200 名を、来年 6 月 30 日の年度の終わりには、少なくとも 200 名ぐらいの増員にして 2,400 名で次年度に引き継いでもらいたいと、地区の会員増強委員会を中心に綿密な計画を立てています。きょう、こうしてお邪魔した途端に新入会員が 1 人、入ったということで嬉しい限りです。先ほど藤村会長から聞いたところによると、「年間十数名に入会してもらって、早く 70 名にしたい」という、大変力強いお話を伺いました。皆様一人おひとりに、会員増強へのお力添えをいただきたいと思っています。

昨年 3 月 11 日の震災の後、ロータリーそのもの、特に私たちの 2520 地区が大きな被害を受けました。81 クラブ中、津波に遭った地区が 26、福島の際（宮城県）にある丸森と角田というクラブは、津波を免れたものの、原発近くということで、放射能被害を被っています。併せて 28 クラブが被害を受けました。そうしたクラブへのお力添えに 2520 地区が全力を挙げなければならないと思っています。過去、楡山ガバナー年度、菅原ガバナー年度と、大変なご努力で乗り切っていますが、幸いなことにクラブの消滅だけはなかった。会員の減少はありましたが、クラブが存続したことは何よりのことだった。被災クラブの支援はもとより、2 年間はロータリー本来の事業がちょっと停滞したのも事実なので、今年度からは規模が縮小になるかもしれませんが、本来の事業に邁進したいという計画も立てています。

先ほどご紹介があった財団の留学生で、佐々木裕子さんは盛岡ロータリークラブ推薦でフランスのパリ第 3 大学に留学することになりました。8 月 6 日に出発とのこと。昨年の選考の折にも少しお会いしましたが、佐々木さんにはご自身の勉強もさることながら、「日本とフランスの架け橋になっていただきたい」とお願いしておきました。大変優秀な方ですから、立派な成績を収めて 1 年後に帰国すると思っています。これは財団の事業ですが、国際奉仕の関係では、長期交換留学が来月から始まります。フランスと台湾、アメリカから 4 名が 2520 地区に派遣される予定になっています。こちらから行くのはアメリカとフランス、台湾へ 3 名。

昨年は 1 名、「放射能が怖い」と、海外から来られる方の辞退がありました。短期の青少年交換留学生も募集にまもなく入る予定です。GSE も 3 月に受け入れも派遣も行われますが、すでにメキシコの 4150 地区から来日して、こちらからも派遣する計画が進んでいます。米山記念奨学会で盛岡の大学あるいは大学院に通っている留学生を支援する事業も継続して本年も行われる予定になっています。今の経済状況はあまり良くないということで、米山記念奨学会も多少計画通りに行かないものですから、日本全体として去年まで 800 名の生徒をお世話していましたが、今年度は 700 名となっています。2520 地区においては増減がありません。今、地区としては 14 名をお世話することになっています。これも皆様方のご支援の賜物と思っております。震災で若干、ロータリー本来の事業が滞っていて、一気に挽回する訳にはいきませんが、少しずつもとに戻して行く計画です。

次年度に大きく変わる ロータリー財団の仕組み

財団の関係では、次年度は財団の仕組みが大きく変わります。未来の夢計画「フューチャー・ビジョン」です。日本の 34 地区の中で 6 地区がパイロットクラブとして 3 年間、試行していましたが、全世界が来年 7 月から未来の夢計画に移行します。その説明セミナーを 8 月 4 日、栗駒で地区の財団委員長として、大変詳しい蜂谷パストガバナーと、日本事務局の清水室長にお願いして、皆様にセミナーを開く計画を立てています。先ほどお聞きしたところ、会長と小山委員長のほか、GSE 委員も出席すると聞きました。その他にも参加できる方には参加していただきたいと思っています。

いろいろと計画をお聞きした中で、最後になりますが、盛岡ロータリークラブ自体で復興支援の特別委員会を設置して、「地区とタイアップできることはタイアップして応援していきましょう」と藤村会長がおっしゃっていました。まったくその通りで、1 年半が経とうとしているところですが、被災して流され、家の土台が残されたままの被災地は何も変わっていない。また、被災した方々は仮設住宅でお過ごしになっていることを考えると、我々ロータリアンがこれから何をやっていかなければならないの

か、考えさせられます。現地に行くと、涙が出るような光景が目に入ります。1日も早く、そうした地域が元気になり、81クラブの皆様が笑顔でロータリー活動ができる日が来ればいいなと願っております。岩手のことだけを言うと、山田や大槌、陸前高田クラブは満足に例会も開けないどころか、例会場もないようなクラブ運営ですが、現地クラブの方々は「ロータリーの火を消さないように頑張っていく」とおっしゃっています。そういう言葉を聞くと、我々が役に立つことなどを実行することで、支援できれば良いなと思います。地区と各クラブが手を取り合って28クラブのために活動していきたいと思います。田中RI会長の年度でもあり

ますから、そのへんをご理解いただき、お金のかかることも多々あると思いますが、地区の発展のためにお願い申し上げたいと思います。

最後になりますが、盛岡ロータリークラブが岩手のクラブの基になっています。我々二戸クラブのスポンサーでもあります。盛岡クラブが50年ほど前に二戸にクラブを誕生させていなかったら、きょうの私もなかったということです。盛岡クラブは私が生まれる前の創立ということで、もう75年ほどの歴史と伝統があるクラブですから、我々のリーダーとなってロータリーの原動力になってもらうことを願います。ありがとうございました。

「納涼会」 (於：盛岡グランドホテル)



藤村文昭会長挨拶



開会のあいさつ
吉江信博親睦委員長



歓迎のあいさつ
小川惇パストガバナー



司会
星克彦親睦委員



和やかな会場風景



大いに沸いた日本一のイカサマ手品師、ブラボー中谷氏によるパフォーマンス



たくさん集まったテレビ岩手24時間テレビ募金。ご協力ありがとうございました



中締め 平井滋次期会長